

昭和六一年(一九八六)

- 6・2 教育・人口等調査(現代)
- 6・10 第27回編集専門委員会議
- 6・20 民俗班調査研究会(河上委員他)
- 6・22 墓石調査(千手院・清岩院)
- 6・25 屋敷神調査打合せ(民俗班)
- 7・1 墓石調査整理(小松調査員)
- 7・3 稲荷調査打合せ(資料室宮田氏指導) 寺社資料整理(遠藤調査員)
- 7・10 寺社文書原稿化始まる。
- 7・16 資料編構成、集中調査準備(久保田委員、小松・平野調査員)
- 7・22 『みづくらんど』編集(川鍋委員)
- 7・24 旧宝蔵院観音堂調査・長徳寺墓石調査(遠藤調査員他1名)
- 7・25 旧宝蔵院墓石調査(久保田委員他)
- 7・26 旧宝蔵院・長徳寺墓石調査(久保田委員、他7名) 大久野西福寺文書の閲覧調査(日の出町史編さん室) 真福寺調査(遠藤調査員)
- 7・27 長徳寺墓石調査(8名)

- 7・28 長徳寺・福生院墓石調査(5名)
- 7・29 福生院墓石調査(6名) 民俗班稲荷調査



- 7・30 墓石調査整理 民俗班稲荷調査
- 7・31 民俗班調査研究会(河上委員、佐野調査員、他7名) 野調査員、他7名)
- 8・3 第28回編集専門委員会議
- 8・3 中世班、高野山調査(久保田委員、遠藤調査員)
- 8・4 民俗調査整理(佐野調査員)
- 8・4 統計調査打合せ(川鍋委員他2名)
- 8・5 統計調査(西多摩の統計他)
- 8・7 統計調査指導(川鍋委員)
- 8・11 マイクロ撮影開始
- 9・14 資料編編集計画(久保田委員、大久保・遠藤・小松・平野調査員)
- 9・16 近世、市内調査(北原委員)
- 9・17 統計調査指導(川鍋委員)
- 9・18 屋敷神調査打合せ(7名)
- 9・19 マイクロ撮影機搬入
- 9・20 古文書筆写指導(北原委員)
- 9・21 中世班、系図調査(小平市立中央図書館)・資料編の検討
- 9・22 森田家文書整理(新井委員、他)
- 9・23 寺社文書検討(遠藤調査員)
- 9・24 市内調査(北原委員、事務局)
- 9・25 森田豊家資料目録の作成(佐藤調査員)
- 9・26 熊川神社棟札調査(久保田委員他)
- 9・27 民俗班調査研究会(河上委員他)
- 9・28 町田市木曾町の石川允家文書調査(久保田委員、高崎・遠藤調査員)
- 9・29 千手院、永昌院調査(遠藤調査員他)
- 10・2 西福寺、清岩院の歴住調査(遠藤調査員)

10・6 大悲願寺調査打合せ(於五日市町) 加藤住職・五日市町の好意により真福寺本寺調査が可能となる。

10・7 福生町事務報告書、他4点  
橋本委員より資料提供(昭和24年)

第29回編集専門委員会議  
市民講座、資料編・通史編の構成

10・9 大悲願寺訪問(遠藤・平野調査員)  
普門寺・桑林寺(茨城県筑波町)調査(案内は糸賀茂男氏、久保田委員、遠藤・平野調査員)

10・10 墓石調査整理(小松調査員)  
マイクロ撮影文書借出(編さん室)

10・11 屋敷神調査打合せ(民俗班)  
10・12 日野市史編さん室(柚木家文書の閲覧調査) 遠藤調査員

10・16 近世・近代資料拝借(高橋与十家)  
10・21 大悲願寺調査 五日市町文化財保護審議委員会の調査に中世班が参加。真福寺関係資料を拝見。参加は五日市町5人、福生市6人。

## 編集後記



◇『みずくらいど』創刊号のこの欄で、難産だった話を書いたが、すでに第四号をかぞえ、ようやく軌道にのって来た感じがする。市民に開かれた市史づくりをモットーに、いろいろな機会を通して市民の参加、協力をいただいているが、『みずくらいど』にも、「市民が綴る福生の歴史」コーナーがあり、できるだけ多くの方の登場をお願いしたいと考えている。その点ではまだまだ十分でない。明治・大正・昭和、あるいは戦後史、とくに多摩川、玉川上水、基地、酒造など、福生の歴史の核になるようなテーマについて、どんなことでも結構ですので、情報提供や投稿をお願いしたい。

◇「新聞記事にみる福生昭和史の一面」(内田祥子さん)に取りあげられた読売新聞「多摩版」の記事には、こうしたテーマの材料がふんだんに紹介されている。今回のレポートでは、記事内容の具体的な調査ができなかったが、「庶民生活史」をさぐる上でも貴重な財産となった。三年目に入った新聞記事検索の作業も骨が折れるけれど、こうした成果がでけると楽しみも大きい。

◇「市史研究調査ノート」は新しいシリーズである。編集専門委員のもとで、こつこつと調査・整理・研究を積みかさねてきた調査員と長年の研究蓄積をもっておられる編さん委員の方々に、その成果を発表してもらった。宝蔵院関係文書や「防空日誌」など、新史料の紹介もあり、興味深い内容になっている。これからのこの「研究調査ノート」で調査員の報告をお願いしていく予定である。

◇福生の市史づくりは、専門委員をはじめ調査員、調査協力員など、それぞれの分野でのチームワークを大事にしている。それを市史全体にひろげていくことがまた重要なことになる。さらにそれが市民の輪にひろがっていくには、もっと身近な市史となるだろう。編集専門委員と編さん室のスタッフは、たえずその事を考えて仕事をしているつもりだが、市民のみなさんの忌憚のないご意見をお寄せいただきたい。

◇「福生市史を学ぶ市民講座」も回をかさねています。市史担当の委員と市民が直接交流する場ですので、大いに参加、利用してください。

◇近世・近代史料の大型調査がようやく緒につきました。その成果、乞ご期待。

◇編集担当は宮岡一雄・新井勝紘。

(新井記)

みずくらいど 4号 (福生市史研究)

---

昭和62年(1987)3月31日 発行

編集 福生市史編さん委員会

発行 福生市

〒197 東京都福生市本町5番地

電話 0425(51)1511

印刷 株式会社 精興社

〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地

---